

技術ノート KGTN 2018121701

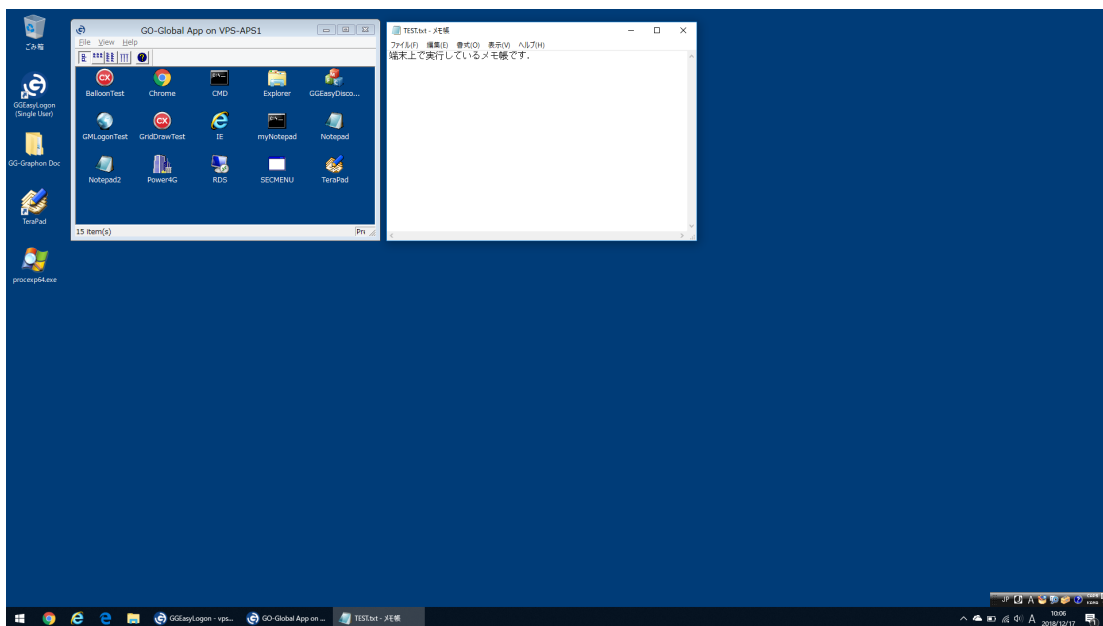
現象

[GGH6.X] クライアント（端末）のディスプレイ表示を拡大することなく、GG 上で実行されるアプリケーションのみを拡大表示したい。

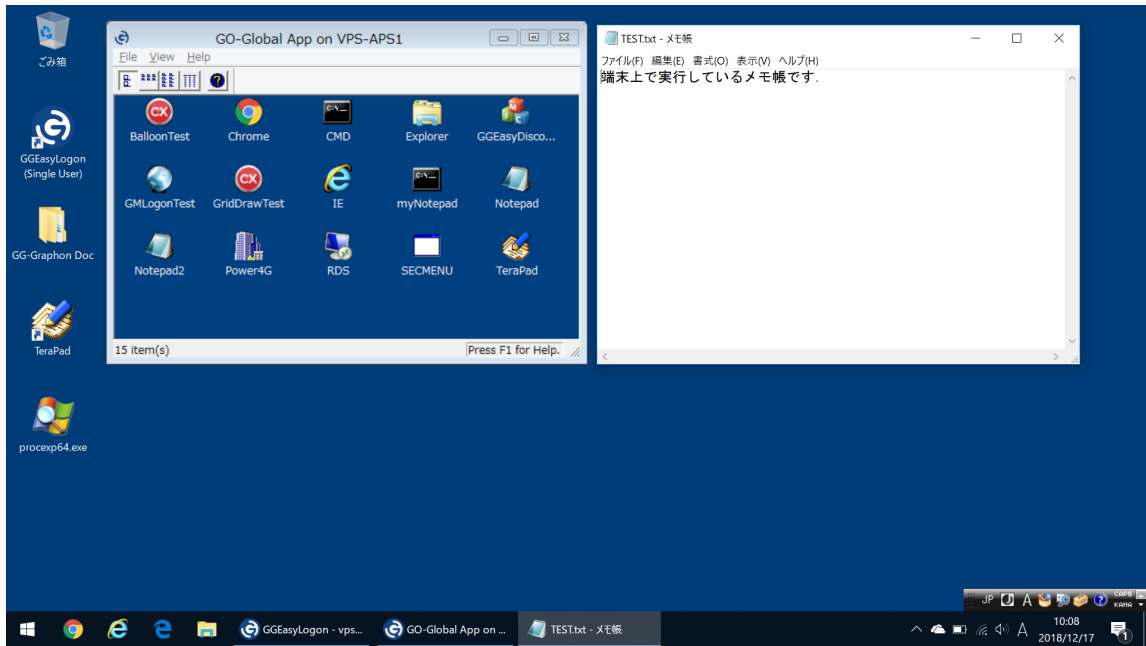
説明

Windows 10 には、高解像度モニター利用時にアプリケーションの表示が過度に小さく表示されないように、ディスプレイの「拡大縮小とレイアウト」機能（DPI スケーリング機能）が用意されています。これを利用することで、GG 上で実行されるアプリケーションも拡大表示されますが、クライアント（端末）上で実行されるアプリケーションも拡大表示されます（画面 1 と画面 2 を見比べて下さい）。このため、DPI スケーリング機能を利用すると、ローカルのアプリケーションが高解像度モニターの利用を前提としている場合、不都合が発生します。

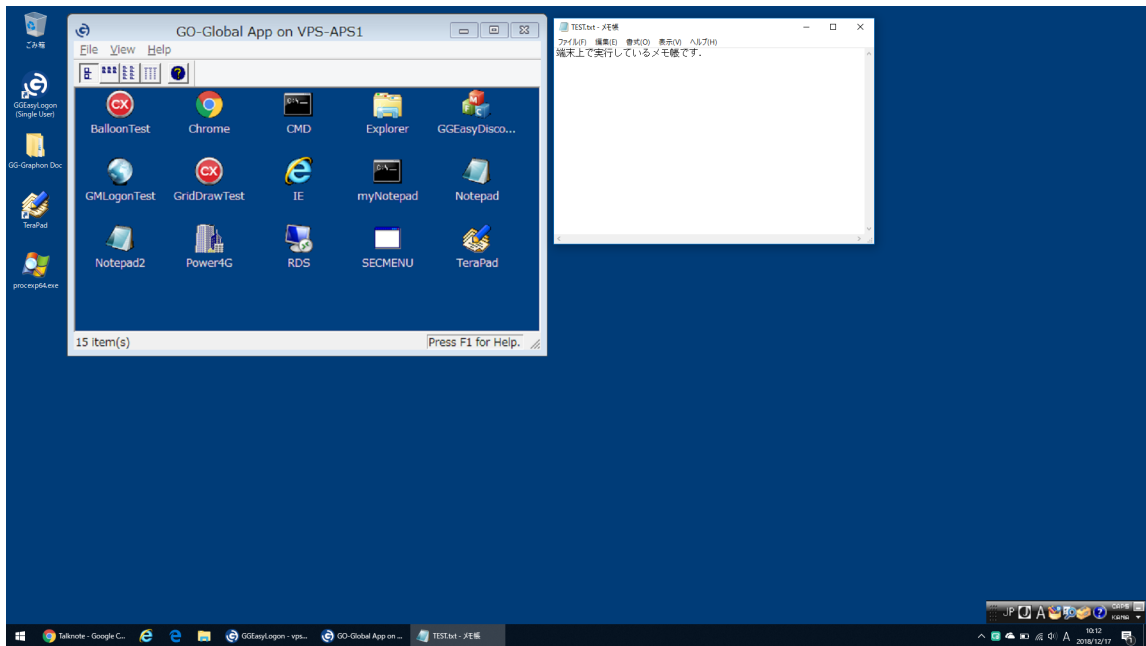
GG のバージョン 6.0 では、この問題を解決するために、セッションレベルでの拡大表示を行う機能が実装されました。GG クライアント起動時に、例えば引数 `-clientscale 150`（ブラウザ系クライアントでは `&clientscale=150`）を指定すると、セッション上で実行されるアプリケーションのみが 150%に拡大されて表示されます（画面 3 をご覧下さい）。この機能を使用することで、GG 上で実行される通常解像度のアプリケーションは高解像モニター上で拡大表示して利用し、ローカルで実行される高解像のアプリケーションは（拡大表示されることなく）そのまま利用することが出来ます。



画面 1: クライアント(端末)で拡大表示を行わない時



画面 2: DPI スケーリング機能で拡大表示 150%を行った時 (ローカルのメモ帳も拡大サイズで表示)



画面 3: GG の拡大表示機能で 150%を行った時 (ローカルのメモ帳は通常サイズで表示)